

2011年社長(木村 康)年頭挨拶について

新年明けましておめでとうございます。1月4日(火)に行われた、当社社長、木村 康のグループ社員に対する年頭挨拶の要旨を、下記の通りお知らせいたします。

<要旨>

1. 石油業界を取り巻く事業環境

原油価格については、新興国における石油需要が底堅いことから、1バレル当たり80ドルから90ドルの幅で推移するものと予想される。

石油業界においては、ここ数年来、構造的に厳しい状況が続いており、今年の需要もガソリン・燃料油合計ともに前年比でそれぞれ3%前後減少する見通しである。

また、政府の税制大綱において、「環境税」として石油・石炭税の段階的な税率引き上げが盛り込まれ、石油業界および日本経済への影響も懸念される。

2. 2011年の重点課題

今年は、JXグループ発足にあたり策定された3カ年の中期経営計画の2年目にあたる。当社に課せられたミッションは、当社およびJXグループの飛躍に向けて、基本戦略の4本柱、「統合シナジーの創出」、「国内最高の競争力を有する製造・販売体制の構築」、「海外事業の強化」、「新エネルギー・新規事業の育成と推進」、の課題をクリアすることである。

「劇的な事業変革実現」のため、当社にとって最善の策は何かについて、全社を挙げて真摯に議論を闘わせ、「ベスト・プラクティス」を導き出していきたい。

3. グループ社員への期待

CS・顧客満足については、お客様の期待を受け、お客様の満足を最大限にするよう努力すること、そのために一人ひとりが想像力を働かせ、躊躇しない変革を行うこと。その結果が、お客様から当社の商品・サービスを選択していただくという「かたち」になって返ってくるのである、ということを申し上げたい。

また、昨年7月の当社発足式で申し上げた「当事者意識」、「プロ意識」、「変革意識」の「3つの意識」を思い出して欲しい。変革の渦中にある間は、解決しなければならない問題が山積し、ともすれば逃げ道を探す方向へ流れてしまいがちになる。しかし、皆さんの叡智を結集し、「劇的な事業変革」を早期に実現することが、当社がグローバルに高く評価される事業会社になり、「JX」のプレゼンスをますます高める最速、最短の道になるのである。

そのためにも、「CS・顧客満足」と「3つの意識」とを胸に、高い志と、気迫と、強い精神力で、目の前の難事に真っ向から取り組んでいただきたい。

以 上